

自作教具の活用事例

【作品名】 百マス計算バトル（ワークシート）	【学校名】 日立市立日立特別支援学校
【活用できる領域・教科等】 算数の学習（かけ算九九）	【制作者名】 梅田 隼
【制作の意図】 集中力を維持することが難しい児童生徒でも興味をもち、活発に学習に取り組むことができるようになる。 計算に対する嫌悪感がある子どもでも楽しんで取り組むことができるようになる。	【使用方法】 百マス計算で解いてほしいところだけを空欄にする。 空欄が埋まったら、対戦相手の体力ゲージを塗りつぶしてダメージを与える。 間違えた場合、自分がダメージを受ける。
【制作上の工夫】 空欄の場所を教師が選べるので習熟度や実態に応じた対応ができる。 空欄以外は数字が記入してあることから、上下左右の数をヒントに穴埋めをすることができる。 問題を解くことができると相手にダメージを与えるなど、ゲーム好きの子どもが増えてきている実態と学習を結びつけることができる。 児童生徒と教師のやりとりも発生するため、双方向に関わりながら学習することができる。	【見取り図】 ワークシートなのでありません。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 個別学習の際に使用することができる。 実態に応じて好きなキャラクターに変更できる。 空欄の場所を変更しながら段階的に学習をすることができる。 最初は空欄の位置を規則的に設定し、できるようになったら写真のようにランダムに配置することで、応用発展をねらうことができる。
【材料・材質・部品等】 ワークシート	